

各研究科の目的

【大学院国際学研究科】（宇都宮大学大学院国際学研究科細則より）

（教育研究の目的）

第2条 博士前期課程においては、次の高度専門職業人を養成する。

- 一 国際社会研究専攻においては、調査分析能力と問題解決能力を備えた人材
- 二 国際文化研究専攻においては、異文化理解に基づく多文化共生を推進できる人材
- 三 国際交流研究専攻においては、市民レベルの国際交流・国際貢献活動に従事する人材

2 博士後期課程の国際学研究専攻においては、多文化公共圏の形成に関わる課題設定・実施の組織的監理を行う指導的・高度専門職業人を養成する。

【大学院教育学研究科】（宇都宮大学大学院教育学研究科細則より）

（教育研究の目的）

第2条 本研究科は、現代の学校教育及び地域における複雑・困難な諸問題に的確に対応し得る、高度の実践能力と研究能力を併せ持つ人材を育成する。

また、理論と実践とを密接に結合した研究・教育体制を整備し、現職教員及び社会人に対しても、継続教育の一環として充実した再学習の場を提供する。

修了者は、学校及び地域の教育・研究・実践等を創造的に推進する中核となる人材として活躍するとともに、地域の文化の向上に寄与する人材として期待される。

【大学院工学研究科】（宇都宮大学大学院工学研究科細則より）

（教育研究の目的）

第2条 博士前期課程では、工学についての幅広い視野と実システムへの応用力をもち、自主性と創造的能力を発揮できる人材を養成することを目的とする。

博士後期課程では、新分野に対応できる創造的能力と幅広い工学的知識を身につけ、社会の要請する工学的諸課題を自ら解決できる自立した人材を養成することを目的とする。

【大学院農学研究科】（宇都宮大学大学院農学研究科細則より）

（教育研究の目的）

第2条 本研究科では、農業・食料・資源・環境問題を解決するため、生命・

生物機能・生物資源・環境・社会経済に関係する農学の領域を中心とした高度な専門知識と技術を修得し、自然や文明・社会・文化に対する豊かな教養をそなえた、地域と世界に貢献しうる高度専門職業人を養成する。